

## 第59回 かんもん景気ウォッチャー調査

### 《令和元年5月調査結果》

～ 関門地域の景気は、大型連休の効果などから4期ぶりに改善  
先行きは、消費税増税を控え、再び悪化の見込み ～

最終消費を中心とした関門地域の景気動向を、「第59回かんもん景気ウォッチャー調査」結果からみると、3か月前と比べた景気の方角性判断D.I.は56.8となり、平成30年5月調査以来、4期ぶりに“景気は横這い”であることを示す50.0を上回った。

現在の景気の水準判断D.I.は、前回調査（平成31年2月）の41.2から7.3ポイント改善して48.5となった。

景気の先行きの方角性判断D.I.は、44.7と、再び悪化することが予想されている。

景気ウォッチャーによる判断を総合すると、関門地域の景気の現状は、大型連休の影響もあって観光関連を中心に4期ぶりに改善したが、消費関連は引続き低調に推移している。

先行きについては、消費税増税時期が近づくことや、大型連休の反動による消費の減退予測もあって、再び悪化が予想されている。

照会窓口：調査室

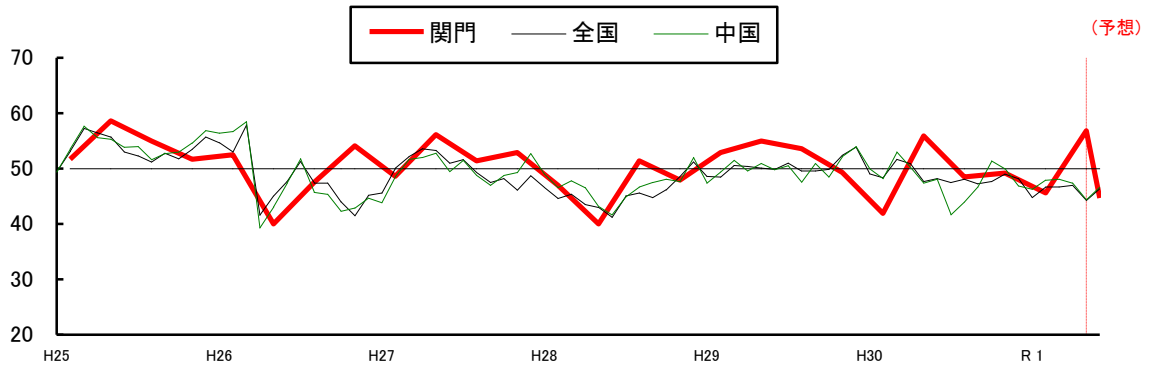
TEL：083-223-3632

## 調査結果概要

### 1. 景気の方角性に関する判断D. I.

#### ▽「景気の方角性判断D. I.の推移」(平成25年以降)【原数値】

【詳細はP6参照】



平成30年 5月実績	8月実績	11月実績	平成31年 2月実績	令和元年 5月実績	8月予想
55.9	48.5	49.2	45.6	56.8	-
前回調査 予想 55.1	前回調査 予想 46.3	前回調査 予想 47.8	前回調査 予想 46.3	前回調査 予想 52.2	今回調査 予想 44.7

#### (1) 現在の景気の方角性判断D. I.

3か月前と比べた関東地域の現在の景気の方角性判断D. I.は、56.8となり、平成30年5月調査以来、4期ぶりに“景気は横這い”であることを示す50.0を上回った。

今期は、大型連休の影響もあって観光関連を中心に4期ぶりに改善したが、消費関連は引き続き低調に推移している。

(内閣府令和元年5月調査結果：全国44.3、中国44.4)【原数値】

景気ウォッチャーからは、大型連休中は比較的天候も良く、観光客が増加し、観光関連は好調に推移したが、大型小売店やスーパーなど

の消費関連は来店客の減少もあって低調との意見が多く聞かれた。

観光関連では、「10連休といっても、収容人数が決まっていることから、例年の連休と比べて大きな違いはないが、土産物の販売は良かった」（ホテル、飲食業）、「観光客は多かったが、長い休みで目的地が分散しており、飲食に時間をかけず次の目的地に向かう観光客が目立ち、財布の紐は固いと感じた」（飲食業）、「先帝祭の日は関門連絡船は大混雑で、運行時間を変更しピストン輸送で対応した」（運輸業）、「連休中は日本人観光客の増加が目立った。外国人では台湾の観光客が増加している」（商工団体）といった意見が聞かれた。

消費関連では、「連休の前半は旅行等で外出する機会が増えたことから来店客が減少した。後半は来店客が戻ってきたが、催し物目当ての来店が多く、売上増には結びついていない」（大型小売店）、「旅行等で外出する機会が増え、食材等の売上が落込んだ」（スーパー）という意見がある一方で、「連休中は通勤客を中心に来店客の減少を予想していたが、予想に反して、期間を通して来店客が多かった」（コンビニエンスストア）といった意見もあった。

運輸関連では、「連休中の稼働は例年と変わらず良くない。運転手不足が続いている中で、料金改定の準備を進めているが、増加する有給休暇や最低賃金の上昇による経費の増加分の吸収は難しい」（タクシー業界）、「転職のための退社も散見され、運転手不足が深刻となっている」（運送業）といった意見が聞かれた。

住宅関連では、「消費税増税を意識した動きが継続しており、内覧会等への来場者数、成約数ともに増加している」（マンション業者）といった意見であった。

## （2）景気の先行きの方向性判断D. I.

3か月先（8月頃まで）の景気の先行きの方向性判断D. I. は、消費

税増税時期が近づくことや、大型連休の反動による消費の減退予測もあって、44.7と、再び悪化することが予想されている。

(内閣府令和元年5月調査結果：全国 46.4、中国 46.7) 【原数値】

景気の先行きについて、景気ウォッチャーからは、消費税増税時期が近づくことや、参議院選挙もあって、消費関連を中心に悪化するとの意見が多く、仮に消費税増税が見送られたとしても消費が上向く要因にはならないとの意見も聞かれた。

観光関連では、「連休後は反動で落ち込むが、夏休みは今のところ例年と変わらない予約状況となっている」(ホテル・旅館)、「韓国旅行の人气が根強く、花火大会の海上観覧とセットになった関釜フェリーの売行きが好調で、連休の消費疲れの影響は感じられない」(旅行代理店)といった意見が聞かれた。

消費関連では、「先行きは天候次第で良し悪しが決まる。選挙の影響で地元宴会需要が落込み、消費税増税に備え、消費が控えられると良くなる要因がない」(飲食店)、「人口の減少や食料品の値上げもあって厳しい状況が続いており、人件費、輸送コストの増加もあって、消費税増税が見送りとなっても上向く要因にはならない」(スーパー)、「先行きも好転する材料がないうえ、夏休みや盆の連休などもあって売上は落ちる」(宝飾品)といった意見が聞かれた。

住宅関連からは、「現行消費税対象物件については一定の販売が見込めるが、先行きは消費税増税や建設コストの上昇により販売価格の引上げが避けられない中で、顧客動向は不透明。海外情勢の経済市場への影響も懸念材料」(建設会社)といった意見があった。

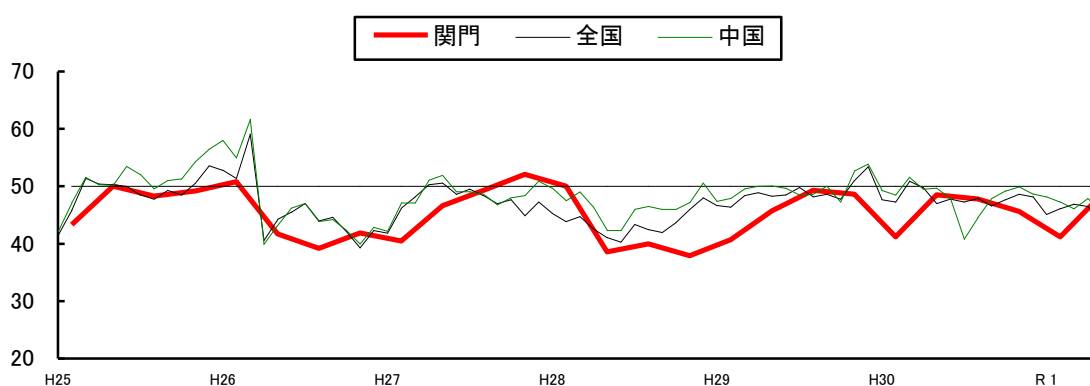
そのような中で、地元大型小売店の吸収合併や、唐戸地区への大手リゾートホテルの進出計画が公表され、今後の動向が注目される。

## 2. 景気の水準に関する判断D. I.

現在の景気の水準に関する判断D. I. は、前回調査の41.2から7.3ポイント改善して48.5となった。

### ▽「景気の水準判断D. I. の推移」(平成25年以降)【原数値】

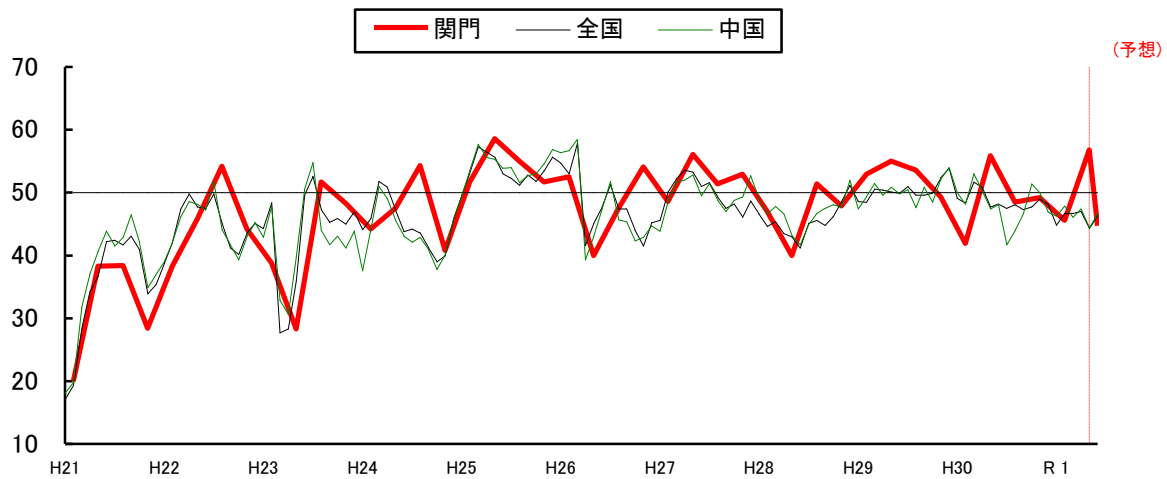
【詳細はP7参照】



	平成30年 5月実績	8月実績	11月実績	平成31年 2月実績	令和元年 5月実績
関門地域	48.5	47.8	45.6	41.2	48.5
全国	47.0	47.9	48.6	46.1	43.9
中国地域	49.7	44.6	49.9	47.3	45.6

【 参 考 】

「景気の方角性判断D. I. の推移」(平成 21 年以降)【原数値】

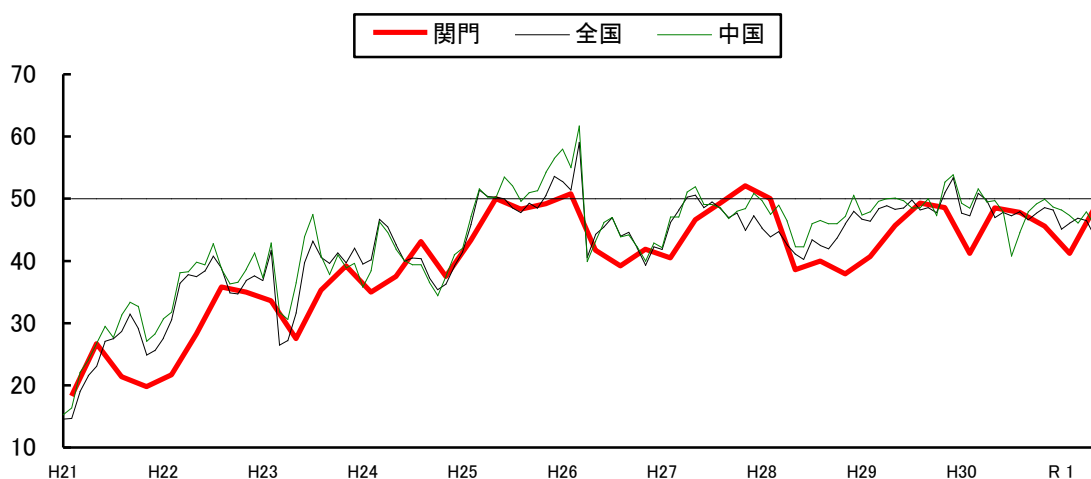


(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関 門 地 域	H21		20.0			38.3			38.4			28.4	
	H22		38.3			45.8			54.2			44.2	
	H23		38.8			28.3			51.7			48.3	
	H24		44.2			47.5			54.3			40.8	
	H25		51.7			58.6			55.0			51.7	
	H26		52.5			40.0			47.5			54.1	
	H27		48.6			56.1			51.4			52.9	
	H28		47.0			40.0			51.4			47.9	
	H29		52.9			55.0			53.6			49.3	
	H30		41.9			55.9			48.5			49.2	
	R 1		45.6			56.8			44.7		(予想)		
全 国	H21	17.1	19.4	28.4	34.2	36.7	42.2	42.4	41.7	43.1	40.9	33.9	35.4
	H22	38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1
	H23	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0
	H24	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8
	H25	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7
	H26	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2
	H27	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7
	H28	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1	45.6	44.8	46.2	48.6	51.2
	H29	48.6	48.5	50.6	50.4	50.1	49.9	51.0	49.6	49.6	49.9	52.4	53.9
	H30	49.1	48.4	51.7	50.9	47.7	48.2	47.5	48.1	47.3	47.7	49.0	48.2
	R 1	44.8	46.7	46.7	47.0	44.3			46.4		(予想)		
中 国 地 域	H21	18.1	19.8	31.8	37.0	40.7	43.9	41.5	42.9	46.5	42.1	34.9	37.0
	H22	39.1	42.1	46.2	48.6	48.2	47.2	51.8	44.1	41.7	39.3	43.1	45.3
	H23	42.9	47.8	32.9	30.6	39.8	50.6	54.8	44.0	41.7	43.1	41.2	43.9
	H24	37.6	44.2	51.0	49.1	45.6	43.1	42.1	42.9	40.9	37.8	40.2	45.9
	H25	49.4	53.6	57.7	55.6	55.3	53.9	54.0	51.6	52.7	53.0	54.6	56.9
	H26	56.4	56.7	58.5	39.3	43.1	47.4	51.8	45.7	45.4	42.3	42.9	44.7
	H27	43.9	48.6	51.7	52.0	52.8	49.5	51.5	48.8	47.0	48.8	49.3	52.7
	H28	49.0	46.6	47.8	46.6	43.2	41.7	44.9	46.7	47.5	48.1	47.7	52.0
	H29	47.4	49.4	51.5	49.6	50.9	49.8	50.5	47.6	50.9	48.5	52.2	54.0
	H30	50.0	48.2	53.0	50.3	47.4	48.1	41.7	44.0	46.7	51.4	50.0	46.9
	R 1	46.3	47.9	46.1	47.4	44.4			46.7		(予想)		

【 参 考 】

「景気の水準判断D. I. の推移」(平成 21 年以降)【原数値】



(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関 門 地 域	H21		18.3			26.7			21.4			19.8	
	H22		21.7			28.3			35.8			35.0	
	H23		33.6			27.5			35.3			39.2	
	H24		35.0			37.5			43.1			37.5	
	H25		43.3			50.0			48.3			49.2	
	H26		50.8			41.7			39.2			41.9	
	H27		40.5			46.6			49.3			52.1	
	H28		50.0			38.6			40.0			37.9	
	H29		40.7			45.7			49.3			48.6	
	H30		41.2			48.5			47.8			45.6	
	R 1		41.2			48.5							
全 国	H21	14.6	14.7	19.0	21.6	23.1	27.1	27.5	28.7	31.5	29.1	24.9	25.6
	H22	27.6	30.6	36.4	37.8	37.5	38.4	40.8	38.8	34.9	34.7	36.9	37.6
	H23	36.9	41.7	26.5	27.2	31.7	39.7	43.2	40.6	39.6	41.3	39.7	42.1
	H24	39.5	40.2	46.7	45.5	42.6	40.0	40.5	40.4	37.3	35.4	36.3	39.2
	H25	41.5	45.9	51.4	50.4	50.3	50.0	48.5	47.8	49.3	48.5	50.6	53.6
	H26	52.8	51.4	59.1	40.6	44.3	45.5	47.0	44.0	44.6	42.1	39.3	42.3
	H27	41.9	46.2	48.2	50.3	50.6	48.6	49.5	48.4	47.0	47.7	44.9	47.3
	H28	45.3	43.9	44.7	42.6	41.1	40.3	43.4	42.5	42.0	43.7	46.0	48.0
	H29	46.7	46.4	48.4	48.9	48.3	48.5	49.8	48.2	48.6	47.8	51.0	53.4
	H30	47.7	47.3	50.9	49.8	47.0	47.8	47.3	47.9	46.6	47.7	48.6	48.2
	R 1	45.1	46.1	46.9	46.5	43.9							
中 国 地 域	H21	15.3	16.4	22.1	24.1	26.8	29.5	27.7	31.3	33.4	32.7	27.1	28.3
	H22	30.7	31.8	38.1	38.3	39.8	39.4	42.8	38.7	36.3	36.6	38.7	41.3
	H23	37.3	42.9	31.8	30.6	36.5	43.9	47.5	40.8	37.8	41.0	38.9	39.6
	H24	35.8	38.5	46.3	44.6	41.9	40.1	39.4	39.4	36.6	34.4	37.6	41.0
	H25	42.1	47.2	51.6	50.3	50.2	53.5	52.1	49.6	51.0	51.3	54.3	56.5
	H26	58.0	55.0	61.7	39.9	43.2	46.2	47.0	43.9	44.2	42.3	40.0	42.9
	H27	42.2	47.1	47.1	51.1	51.9	49.1	49.1	48.6	46.8	48.0	48.4	50.9
	H28	49.7	47.5	49.0	46.4	42.3	42.3	46.0	46.5	46.0	46.0	47.2	50.6
	H29	47.4	47.9	49.6	50.0	50.1	49.7	48.5	48.6	50.0	47.3	52.7	53.9
	H30	49.3	48.5	51.6	49.5	49.7	47.9	40.8	44.6	47.9	49.2	49.9	48.7
	R 1	48.2	47.3	46.1	47.9	45.6							

## かんもん景気ウォッチャー調査の概要

### 1. 調査の目的

関門地域の、景気に関連の深い動きを観察できる立場にある方々から、景気の現状、先行きに関するご意見を伺い、関門地域の景気動向判断を行うことを目的とする。

### 2. 調査の範囲

- ① 対象地域：下関市および北九州市門司区の関門地域。
- ② 調査対象：個人消費動向を中心に景気動向を観察できる方々33人。  
製造業（5人）、建設業（2人）、大型小売店・専門店等（4人）、  
飲食店関係（4人）、運輸業（2人）、タクシー業界（3人）、  
観光関連（6人）、商工業団体等（7人）

### 3. 調査事項

- ① 景気の現状に対する水準・方向性判断及び判断理由
- ② 景気の先行きに対する方向性判断及び判断理由

### 4. 調査時期

年4回（2月、5月、8月、11月）

### 5. D. I. の算出方法

景気の現状、又は先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を、各回答区分の構成比（%）に乗じて、D. I. 値を算出。

【評価】	【点数】
良い・良くなる・良くなっている	… +1.0
やや良い・やや良くなる・やや良くなっている	… +0.75
どちらとも言えない・変わらない	… +0.5
やや悪い・やや悪くなる・やや悪くなっている	… +0.25
悪い・悪くなる・悪くなっている	… 0

### 6. D. I. の見方

D. I. は、「50」を基準点として、上回れば「良い（良くなる）」との見方が多く、下回れば「悪い（悪くなる）」との見方が多いことを示す